

ビールのタワーがそびえる。舞台ではいろいろな歌手が楽しいショーを大音量で繰り広げる。

ワークショップも行う。2回。なかなか好評なのだが、準備が大変。今年はこんにゃくいもの調理法もやる。タイではこんにゃくは茎を食べる。いもは食べないのである。

バンコクからはなれ、バンライのパンダキャンプにも行く。地元でバンド活動をしている古くからの友人たちがいて、今回も来てくれるだろう。楽しい宴が待っている。参加者は日本の歌を披露する。今年は「北酒場」も歌う予定。タイで人気がある歌の一つとのこと。



今年も8月19日(土)にバンコクで日本人のフォーク歌手、豊田勇造のライブがある。昨年初

めて行って、とても楽しかった。今年もいけたらいいな。



▲チナタッタさんが案内してくれた。



▲左はカラワンのモンコンさん。右が豊田勇造さん

## 『藤農便り』 第9号

宮本茶園 tetote farm

宮本 透

春の彼岸過ぎから畑仕事が忙しくなってきました。内郷から佐野川の畑を回って作業をしていると、体はクタクタです。閉店間際のスーパーで半額になった惣菜を買い、帰宅して夕飯を食べるとウトウトします。夜9時過ぎには爆睡、朝5時に起床して朝風呂に入り、てくてくのパンを食べながら趣味のYouTube鑑賞、それから畑に向かいます。お薦めの春アニメは、東京での就職活動に苦戦する女子短大生が野間山という田舎町の観光大使になり町おこしに奮闘する「サクラクエスト」と川越の中学3年生男女の甘酸っぱい初恋を描いた「月がきれい」です。畑仕事で汗を流しアニメをみて疲れた体と心を癒す毎日、もうこの世界から抜け出せません。

### ・児童クラブ勤務

相模原市より「非常勤職員に任用する」という辞令をいただき、3月中旬より児童クラブ勤務が始まりました。昨年11月から現金収入の無い生活でしたので、4月に振り込まれた給料は本当にありがたかったです。職種は「児童育成補助員」、保護者が昼間家庭にいない小学1~3年生の子どもたちの放課後の見守りや生活指導が主な仕事です。作業着をジャージに着替えて出勤、子どもたちと部屋でゲームをし、校庭でサッカーやドッジボールをして遊びます。

オセロ・将棋・囲碁などは久しくやっていなかったのも、子どもたちとの対戦は真剣勝負で熱くなってしまいます。人生ゲームや野球盤など私が子どもの頃にあったアナログゲームも健在なのには驚きました。

評価で管理されない子どもたちは元気いっぱい、新鮮な刺激をたくさんもらっています。彼らが児童クラブで楽しい時間を過ごすことができるよう、穏やかな気持ちで見守りたいと思います。

### ・野草の天ぷらとお茶摘みの会

4 月 29 日に開催された学大環境教育研究センターでのデイキャンプ、初めて茶農家の肩書きで講師を努めさせていただきました。例年以上の参加者で盛況でしたが、今年は春先に低温が続き葉の生育が例年より 10 日ほど遅れたため、摘み取った葉は約 2kg でした。セイロで蒸し、汗を拭きながら焙炉で揉むこと 3 時間、出来上がった新茶をみんなで試飲し、お土産用の小袋を渡して無事終了です。

ところで INCH 伝統行事のお茶摘みの会ですが、最初は味噌作りの会でした。私がまだ学生だった 1985 年春、農場で日野市の市民耕作グループ「やほ耕作団」と自然文化誌研究会冒険探検部合同で行ったのがはじまりです。朝から大釜で大豆を煮ながらみんなで飲んで歌って踊ると、陽気に騒いで一日がかりで数十 kg の味噌を仕込んだものです。小川君が事務局長の頃から茶摘みになったようですが、30 年以上続く行事です。プロの茶農家としてこれからもずっとかかわりたいと思います。今年はまだ手揉み茶講習会に参加して、技術の向上に励みます。年末には孫が産まれるので、数年後には一緒にお茶作りができそうです。老後の楽しみが増えました。

夕方からは国分寺で運営委員会、会議終了後は若いスタッフと合流して楽しい飲み会になりました。にぎやかな若者たちを横目に、委員のおじさんたちは隅っこで酒盛りです。黒澤君との会話、「久しぶりに冒険探検部に 1 年生が入ったので、飲みにつれてきます」、「僕も誘ってよ」、「先輩が来たら 1 年生が怖がって逃げちゃうじゃないですか！私に任せてください」。私は学生時代佐藤さんたち先輩の方々から受けた御恩を後輩たちに返したかったのに、少し心が傷付きました。木俣師との会話、「農家になって 4 ヶ月、今のところ就農計画通りで順調です」、「それはよかったですね」、「お茶と雑穀栽培で頭がいっぱいで、他の事は何もできません」、「宮本ちゃんはもともとコッチ側の人なのだから、極めたらいいじゃないですか」。ありがたいお言葉をいただき、コッチの世界にこもって一層やる気がわいてきました。

### ・茶収穫

4 月 25 日農協藤野茶業部総会・部会に出席、宮本茶園初めての収穫は不安だらけでしたが、先輩方から今年度の収穫・加工計画について親切に教えていただき、じっくり準備をすることができました。5 月 9 日に茶園巡回があり、県農業技術センターの木村普及員の指導のもと各部員の摘採時期を確認しました。先輩農家の茶畑を見学することができ、とても勉強になりました。私の茶畑収穫日は、葉の生育のよいところが 16 日、芽が小さいところが 22 日となりました。

収穫作業は摘採・運搬・選別等様々な工程があり、とても 1 人ではできません。部長の小池さんやつくいやさいの石山さんに相談し、知人をお願いして働いてくださる人を探しました。ありがたいことに佐野川の先輩農家とつくいやさいや飯) 竹パウダープロジェクトの仲間が快く引き受けてくださいました。

茶の葉は摘み取ると発酵が始まり、時間が経つほど品質が下がります。小池部長からは「農協が午後集荷するが、人手があるなら 100kg 収穫したらすぐに工場に運んだほうがよい」とアドバイスをいただきました。吉田島農林高校の茶摘み実習、「収穫から 3 時間以内に葉を蒸すのが望ましい」と県農協茶業センターで教わったことを思い出しました。木村普及員と私が摘採機を操作しヘルパーが摘み袋を持って収穫、葉が詰まってサンタクロースのように重い袋を作業場に運んで葉を広げ、総出で古葉や堅い枝を取り除きます。仲間のていねいな作業のおかげで、串川の製茶工場では「今年は良い葉を持ってきたじゃないか」と工場長からほめてもらいました。さらに嬉しいことに足柄茶品評会に出品させていただくことになりました。仲間の力で生まれたつくいやさいの無農薬・無化学肥料・無除草剤のお茶、荒茶を製品加工したら消費者の皆様にお届けしたいと思います。



摘採作業



選別作業

### ・雑穀を未来へつなぐ ミレット藤野・自給農耕ゼミ

ミレット藤野はメンバーが5人になり、篠原シンポジウムの準備と併せて雑穀栽培講座の企画に取り組みました。6回の講座の農作業指導を中川智さんをお願いするため、4月3日木下さん・末村さんと3人で西原を訪ねました。中川さんには初めてお会いしましたが、水車や石臼の扱い方、山の中でツルを使った荷物の運び方、畑の作物の支柱の立て方等、春の1日目いっぱい伝統知を教えてくださいました。快く講師を引き受けてくださり、小菅・西原・藤野と雑穀街道の絆を改めて感じ取ることができました。

中川さんから今年栽培する雑穀の種をいただき、藤野駅前の畑も準備万端です。ミレット藤野では圃場担当になったので、収穫まで責任をもって管理して12月の試食会をむかえたいと思います。

以下講座の内容です。

第1回 5月28日(日)午前10時～

農作業：種蒔き 講座：「日本古来からの長寿食遺産を継承する」木俣美樹男

第2回 6月11日(日)午前10時～

農作業：間引き・定植 講座：「雑穀と雑草 食べられる植物の見分け方」池竹則夫

第3回 7月9日(日)午前10時～

農作業：土寄せ等 講座：「在来種を受け継ぎ、未来へつなげる」増田昭子

第4回 9月19日(日)・10月15日(日)午前10時～

農作業：収穫 講座：「消費者から生産者へ自給的生活のすすめ」加藤大吾

第5回 11月19日(日)午前10時～

農作業：脱穀・調整 講座：「日本の伝統食と健康」

第6回 12月3日(日)午前10時～

雑穀料理教室・試食会 調理：藤野料理教室にじ 越野美樹

参加を希望される方は、メール：[milletfujino@gmail.com](mailto:milletfujino@gmail.com) ファクス：042-687-5639 にお申込ください。



中川さんの伝統知指導



開講を待つ藤野駅前畑